

第35回 ろうきん運営委員トップセミナー

2月1日(木)ホテルセンチュリー静岡(静岡市)にて、県内各店運営委員会の運営委員長、副運営委員長などの代表者約160名の皆さまにより、「第35回ろうきん運営委員トップセミナー」が開催されました。



岩崎 真孝 実行委員長
(清水支店運営委員長)



講演 『金融経済動向を考える! ~今、市場で何が起きているのか~』
山田 明氏 フィナンシャルバンク
インスティテュート(株)CEO

デフレ脱却に向けたマーケットの動きを捉える



相場格言というものがありますが、今年の干支「戌(いぬ)」は「笑う」とされており、十干(じっかん)の「戌(つちのえ)」に当たる年は「転換点」になりやすいと言われています。2018年は60年に1度の「戌戌(つちのえいぬ)」に当たり「明暗が分かれやすい年になる」とされています。相場格言と侮れないのは、この60年サイクルが過去の日本の景気循環とほぼ一致しており、前回は1958年「岩戸景気」がスタートした年。東京タワーや旧国立競技場が竣工し、高度経済成長の起点となった年でもあります。



果たして、2018年は日本が長い間苦しんでいるデフレから脱却することができるのでしょうか?実は現在、デフレ脱却を計る重要ないくつかの指標が、デフレ脱却に向けた局面変化を示してきています。今年の最大の注目ポイントは3月の春闘で、賃金向上等により生活実感に変化をもたらせる結果となればデフレ脱却のカギとなり、まさに今年が「リスタートの年」になるのではないかと考えられます。

ということは、個人による投資も今まで以上に必要な時代になってきます。お客様は「私のために一生懸命になってくれる金融のプロ」を求めています。まさに福祉金融プロフェッショナルである(ろうきん)の腕の見せ所だと思えます。



第2期中期計画「TRY」の成果と課題を引き継ぎつつ、(ろうきん)の理念にもあるよう、人々が喜びを持って共生できる社会の実現に寄与するべく、働く人とその家族の「笑顔」のために会員とスクラムを組んで、運動と利用の深掘りによる「深化」、生産性と職員力そして経営基盤の強化による「進化」に取組み、(ろうきん)の理念の実践につながる「真価」を発揮していきます。



大石 雅邦 実行委員長(本店・静岡中央支店運営委員長)
時代の流れを掴み、「労働組合役員」
「運営委員」の両立場で課題を考える



各店運営委員会での日頃の活動に感謝申し上げます。私たち運営委員は組合役員等と運営委員、それぞれ異なる立場で役割を担っています。本日は両視点で有意義なトップセミナーにしていきたいと思っております。

今、日本経済は戦後2番目の好景気だと言われ、一部では「バブル期と同レベル」とも表現されたりしていますが、実際にそう感じている方はまだまだ多くないのではないかと思います。例えば預金の金利水準はバブル期と大きく異なっており、個人預金に大きな利息が付く状況ではなく、バブルの実感とはほとんどありません。

昨日のトップセミナーの講演でも

古川 正明 理事長
「誇りと自信」を持って(ろうきん)運動を!



今年度も運営委員会を中心とした、会員の皆さんと職員の頑張りで、預金・融資・預かり資産とも順調に推移しています。また、第2期中期計画「TRY」についても目標達成が確実に近づいてきています。これは皆さんのお力添えがあつてこそであり、改めて感謝申し上げます。

本日のトップセミナーで時代の流れを掴むヒントを参加いただいた皆さんに感じてもらう、それぞれの立場で課題に気付いていただける機会になれば幸いです。特に後段の分散会では活発な議論によつて、新たな課題・気付きを持ち帰っていただき、今後のそれぞれの運営委員会活動に活かしていただきたいと思います。

また、労働組合として現在直面している大きな課題は働き手不足の問題ですが、一方で、メガバンクでは業務のIT化による人員削減・効率化を表明しています。同じ経済状況下でありながら、立場によつて課題が大きく違う一例だと言えます。

次期中計においても、「福祉金融機関」として働く方々の「幸せと笑顔」をつくるため、「働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される(ろうきん)」が最大のテーマだと思っております。今年度の成果を踏まえ、来年度からの新しい中計に対して皆さんと議論を深めていきたいと考えています。

世間では仮想通貨取引所の「コインチェック」より、顧客26万人分580億円相当の仮想通貨が流出しました。ブロックチェーンシステムを利用した新たな取引形態と「NEM(ネム)」という仮想通貨で新たな事件が発生したことから、これからの時代はリスクをどう捉え、対策するかが今まで以上に重要となることを改めて感じました。

(静岡(ろうきん)では1兆円を超える預金をお預かりして)

戸倉 亨 専務理事
2018年度からスタート!
第3期中期計画「真価」
働く人とその家族の「笑顔」のために「真価」を発揮!



今期が最終年度となる第2期中期計画「TRY」では、営業態勢の強化・良質な事務の実践・福祉金融事業を担う人材の育成により、労働運動のさらなる発展に向け皆さまと共に活動を実践してきましたが、おかげさまで預金・

ですが、大きな経済変化においても皆さんの預金はしっかり守られる態勢となっているので安心していただきたいと思います。これからも信用と信頼、そして(ろうきん)を使えば使うだけ皆さんの社会と福祉が充実できるグッドマネーの循環を守っていきます。

また、店舗の少なさが利便性の面でネックと言われてきましたが、現在ではコンビニを中心としたATM提携も充実し、ご利用時の利用手数料をフルキャッシュバックしています。使う人の立場にたつてお役に立つことを考える(ろうきん)であると自負しています。

これから(ろうきん)運動に「誇りと自信」を持っていただき、ともに活動を進めていきたいと思います。

預かり資産・融資の各残高とも2017年度末には中期計画の目標を達成できる見込みとなりましたことを報告します。